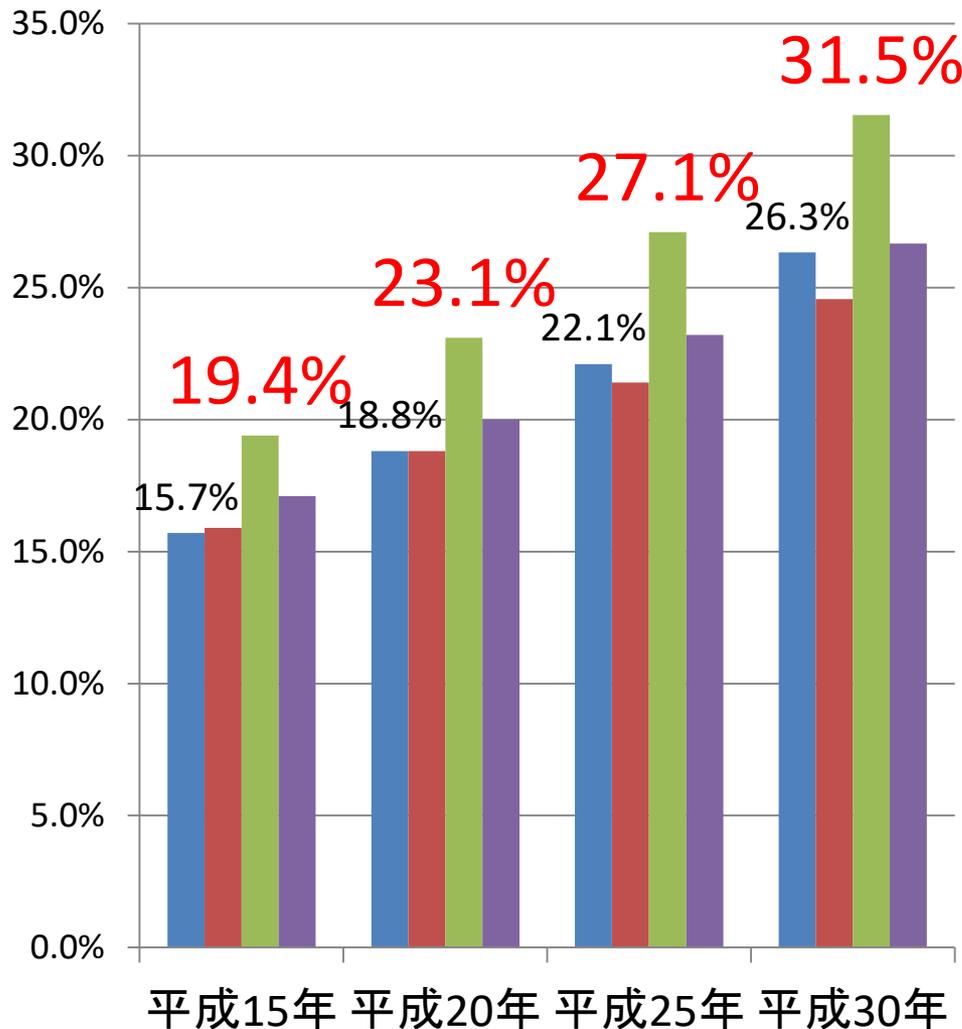


事例から学ぶ 一病院からの 地域包括ケアシステム

社会医療法人 恵和会
西岡病院
(札幌市豊平区)

高齢化率



- 札幌市
- 豊平区
- 西岡地区
- 福住地区



地域の特性(西岡福住地区)

札幌ドーム



クラーク像(羊ヶ丘展望台)



西岡公園



地域の特性

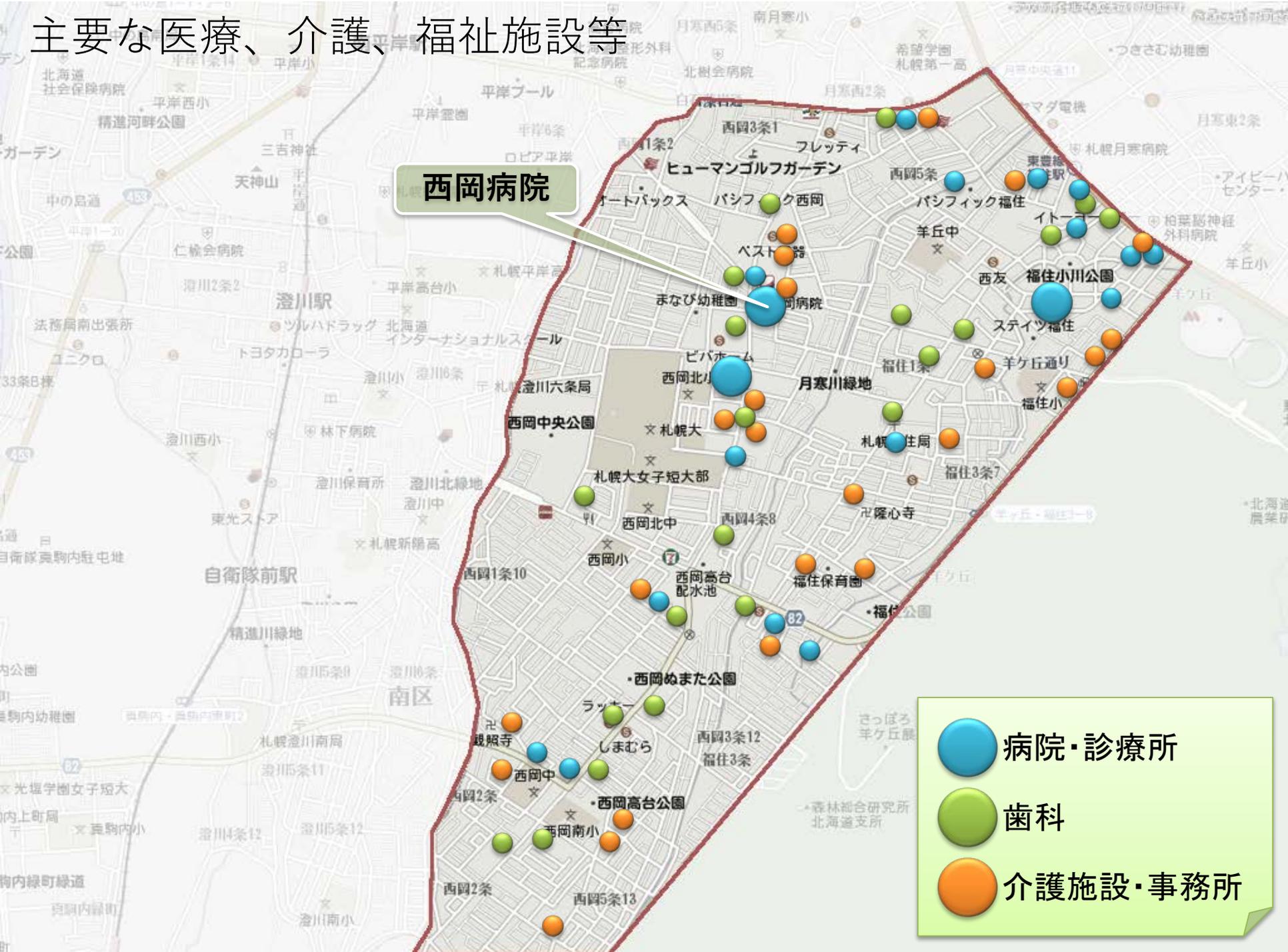
(西岡福住地区)

開拓当時は、「焼山」と呼ばれており、開墾の火が周辺の森林に飛び火して、たびたび山火事が発生したためにこの名が付けられた。昭和19(1944)年に現在の「西岡」と呼ばれるようになった。

その頃より徐々に、住宅地として開発が進み、昭和30年後半から昭和40年代にかけて、当時は土地が安価と言う事もあり、比較的若い年齢層が住宅を求め移り住み住宅地として栄えて行った。

この事が現在の高齢化率の上昇に影響しているが、近年は、独立して行った子供たちが、再び住宅を求め戻ってきており、孫世代の小さな子供たちの声も聞こえてきている。

主要な医療、介護、福祉施設等



西岡病院

- 病院・診療所
- 歯科
- 介護施設・事務所

主要な医療、介護、福祉施設等

サービス種別	札幌市	豊平区	西岡・福住地区	
			全体	法人事業所
病院	199	11	3	1
診療所	1,210	132	19	1
地域包括支援センター	27	3	1	1
居宅介護支援事業所	436	56	8	1
介護予防センター	53	6	2	1
通所介護	622	66	16	1
通所リハビリテーション	76	7	2	1
訪問看護	206	22	4	2
訪問リハビリテーション	55	3	0	0
訪問介護	531	60	9	1
訪問入浴	9	1	0	0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	70	2	1	0
小規模多機能型居宅介護	155	19	5	0
福祉用具貸与・特定福祉用具販売	156	18	2	0
短期入所生活介護	76	5	1	0
短期入所療養介護	55	6	2	1

居住系施設等

サービス種別	札幌市	豊平区	西岡・福住地区	
			全体	法人事業所
認知症対応型共同生活介護	271	28	7	1
介護老人福祉施設	68	9	1	0
介護老人保健施設	50	5	2	2
介護療養型医療施設	15	1	1	0
特定施設入居者生活介護	145	9	3	0
ケアハウス（特定施設指定無し）	8	1	0	0
サービス付き高齢者向け住宅	230	24	7	0
養護老人ホーム	4	0	0	0
軽費老人ホーム	8	0	0	0
有料老人ホーム（住宅型/介護付）	126	18	5	0
高齢者向け賃貸住宅	176	24	3	0
計	1,101	119	29	3

地域包括ケアシステム 構築に向けての課題

- ① 連 携
- ② 情 報 共 有
- ③ 地 域
- ④ リーダーシップ

① 連 携

区・地区において在宅ケア連絡会議や
地区連絡会議等は開催されているが
連携するシステムは、存在しない



社会医療法人恵和会
「とよひら・りんく」の取り組み

とよひら・りんくの活動

平成30年度

平成29年度

平成26年度～

りんく塾

ICTの
取組

平成24～25年度

意思決定

(人生の最終段階)

平成23年度

看取り
介護

終末期
カリキュ
ラム研
修会

とよひら・りんく
ホームページ

<http://www.toyohiralink.jp/>

News Letter を公開



札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会



とよひら・りんく

札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会(通称「とよひら・りんく」)は、平成29年6月、札幌市豊平区西岡・福住地区において、地域の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、社会福祉士などの多職種協働による包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指すとともに、今後の在宅医療に関する政策立案や地域づくりなどに資することを目的に設立されました。

1. 多職種連携の課題に対する解決策の抽出
2. 在宅医療従事者の負担軽減の支援
3. 効率的な医療提供のための多職種連携
4. 在宅医療に関する地域住民への普及啓発
5. 在宅医療に従事する人材育成

平成23年度

意見交換会

介護施設・事業所の管理職が集まり意見交換



- ・平均介護度があがってきている。
- ・**看取りを希望されるご利用者・ご家族が増えてきている。**
- ・看取り実施には職員教育と施設設備面の課題がある。
- ・職員教育が必要だが**1施設内だけでは限界**では。

平成24年度
平成25年度

終末期カリキュラム
研修会

地域での研修会をスケジュールを決め、開催



- ・先駆的な実践を学ぶ(講義): **目指すべき方向の統一**
- ・グループワーク⇒**「課題は同じとの気づきがあり」**
 - 「看取りに関する指針」と現状の確認
 - 「看取り介護の体制整備」に向けての課題
- ・症例発表会⇒**実践の振り返り、日々の実践の延長**
- ・救急業務の現状(業務実施基準) — 札幌市消防局

平成26年度
平成27年度

意思を尊重した
人生の最終段階

患者の意思が尊重した穏やかな人生の最終段階における医療・看取り介護の実現

- ・人生の最終段階における**相談体制、環境の整備**
- ・**アドバンスケアプランニング**等の導入

平成28年度

ACP実践

ACPの先行事例を聞き、実践へつなげる



- ・医療機関、介護施設、在宅事業所等、**どの領域でもACPは重要**
- ・ACPは救命救急等とも連動している(札幌市消防局)
- ・施設単位で研修を行う等も必要

平成29年度

りんく塾

ACPファシリテーターの養成を開始



- ・ACP教育プログラムを公開し、各事業所でも開催
- ・**ロールプレイでまず実践してみる**
- ・**冊子の見直しも実施**



平成30年度

ICTの活用

意思決定等を多職種で情報共有



- ・平常時、急変時、入院時、退院時等、場面により共有内容や意向の変化に対応
- ・連絡帳(既読機能あり)で多職種で情報共有可能
- ・セキュリティ機能(1人1アカウント)と規定の順守

地域医療構想 札幌市豊平区における取組



地域医療構想シンポジウム（平成28年度）

- 豊平区の病院長によるシンポジウム
- 各医療機関の機能と課題について共有



地域医療構想シンポジウム（平成29年度）

- 豊平区の病院長によるシンポジウム
- 北海道医師会、札幌市医師会も参加



地域医療構想に関する会議（平成30年度）

- 豊平区の病院長を集めての会議
- 北海道地域医療計画課より情報提供も実施

② 情報共有

区・地区において情報共有システムは、
存在しない



社会医療法人恵和会
ICT「連携システム」の活用

ICT「連携システム」の活用

情報のタイミング

- 通常時、緊急時、入院時、退院時.
- 生活場所、家族背景.

情報量と更新頻度

- すべての情報が必要か?? またその最新度は??

個人情報の遵守

北海道在宅医療介護総合確保基金

患者情報共有ネットワーク構築事業

ICTを活用して患者情報を共有することで、関係者間の連携の推進、救急医療等の効率化等を図る。

※介護サービス事業者を含んだ形でのネットワーク構築も対象

事業名	概要	補助基準額	補助率
患者情報共有ネットワーク構築事業	<ul style="list-style-type: none">医療機関等相互における役割分担、連携の推進、救急医療の効率化を図るためのネットワークシステム設備整備に補助 ※介護サービス事業者も含む既存ネットワークシステムの公開型病院の拡大	1 病院等当たり 30,000千円 1 診療所等当たり 20,000千円	1/2 以内





病診連携
病診介連携



- ・説明と同意での個人登録
- ・情報共有と既読の確認
- ・後方支援先への状態報告等



医療と介護の情報共有

- ・説明と同意での個人登録
- ・情報共有と既読の確認
- ・後方支援先への状態報告等

医療

介護

(高度)急性期

在宅サービス



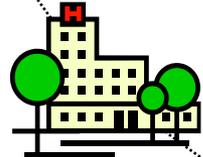
地域包括ケア
病床

訪問診療
入退院支援

訪問の様子
処方の確認

回復期・慢性期

地域包括支援センター
介護支援専門員

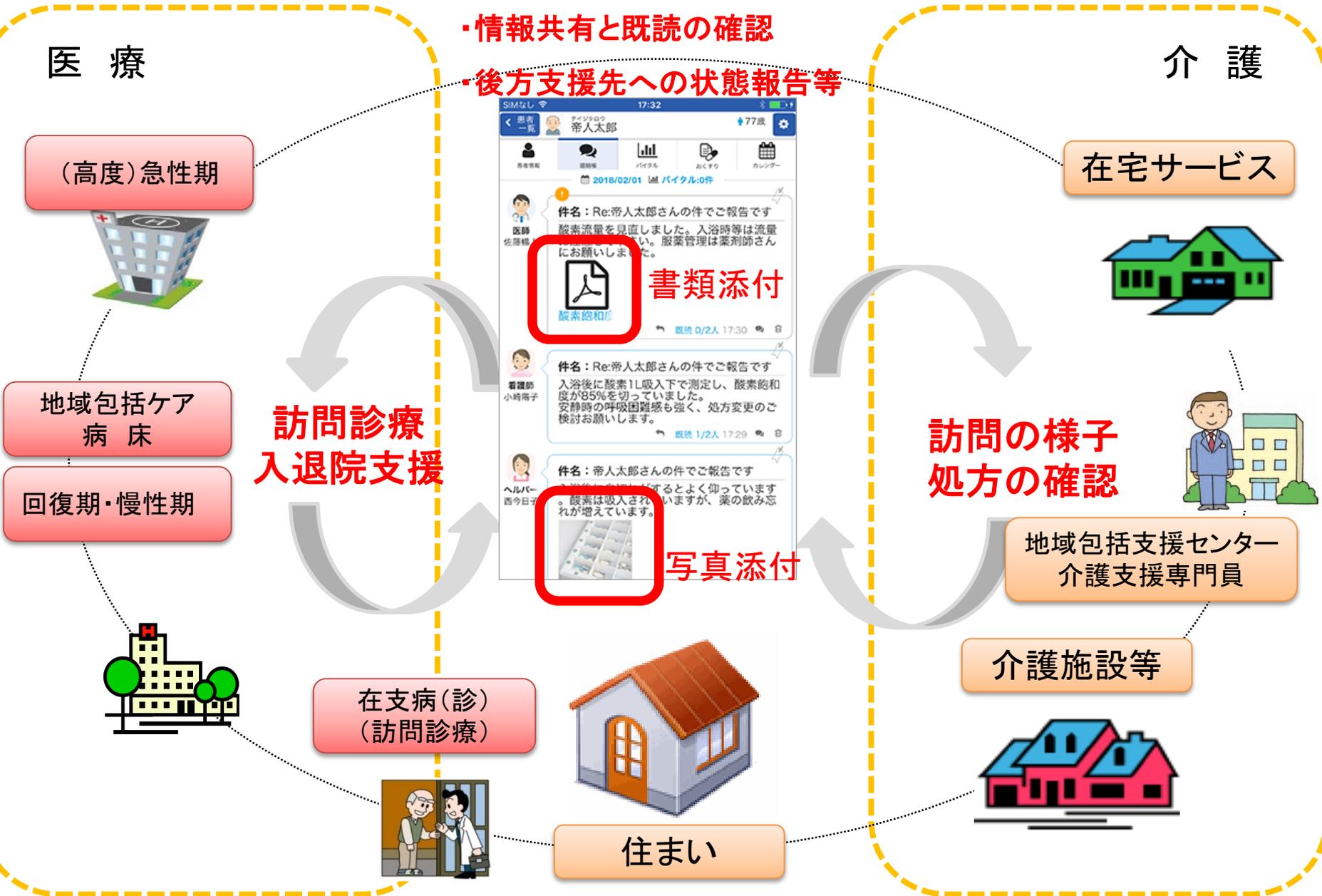


在支病(診)
(訪問診療)

介護施設等



住まい



このシステムで解決できること(可能性)

多職種への情報発信・共有

- ケアマネジャーから多職種へ(例・受診、カンファ).
- 資料、写真の添付.

看取り期の情報共有

- 複数医師や複数訪問看護師との情報共有.

医師への連絡

③ 地 域

- ◆各地区においては、福祉のまち推進センター、地区社会福祉協議会、民生・児童委員協議会、地区町内会等組織化されている。
- ◆様々な取り組みに対する反応は、地区により異なる。
- ◆地域において「地域包括ケアシステム」について理解は、無いに等しい。

④ リーダーシップ

【札幌市】

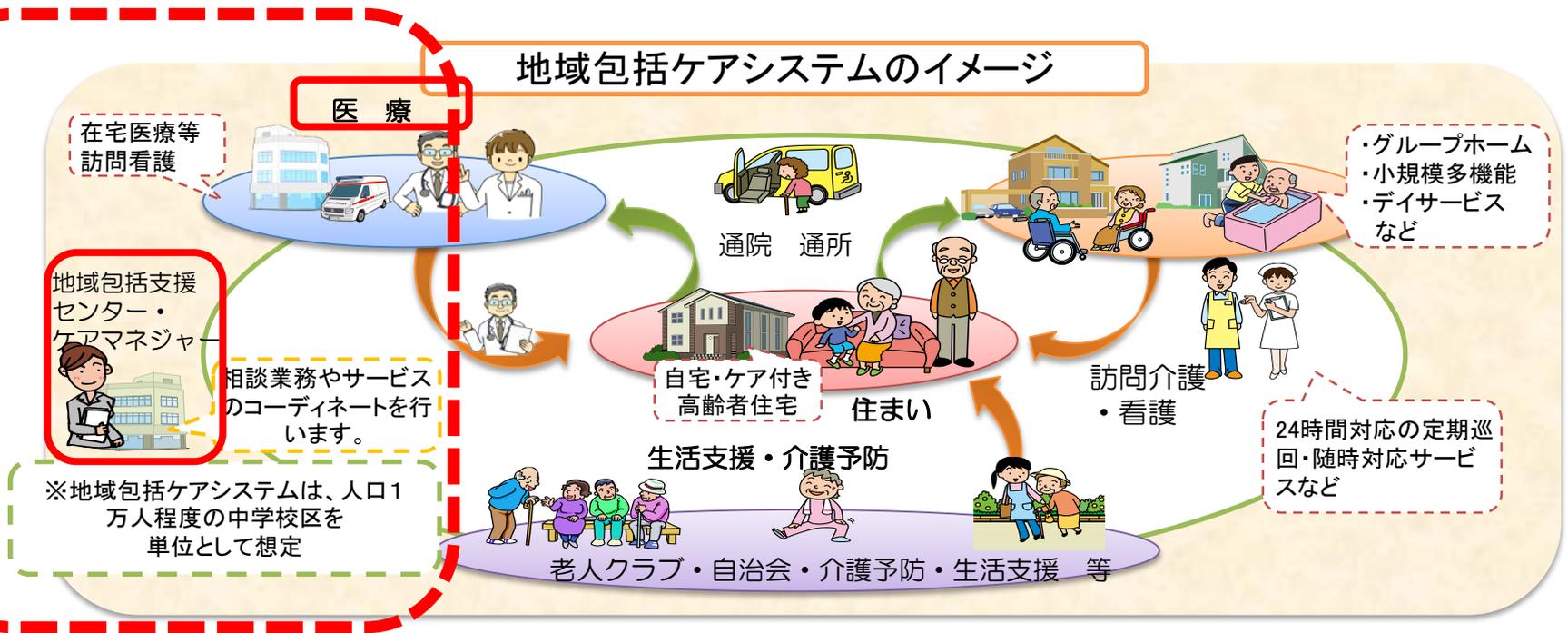
- ◆各区・各地区における対応が見えない。
- ◆ビジョンの周知が不足している。
- ◆関係部署間の連携が少ない。
- ◆地域包括支援センターの存在感が薄い。
- ◆民間事業者の理解が不足している。

【キーパーソンは？】

- ◆行政主導なのか？民間主導なのか？
- ◆地域住民への関りは？

地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステムのイメージ



- 地域包括支援センターの強みを活かす。
(コミュニティ活動、インフォーマルサービス等)



札幌市の地域包括支援センター設置状況



区名	センター数	受託法人種別		地区人口	地区 高齢者人口	1センターあたりの 高齢者人口
		医療	社福			
1 中央区	3	0	3	234,992	53,560	17,853
2 北区	3	0	3	285,394	74,530	24,843
3 東区	3	1	2	262,017	65,894	21,965
4 白石区	3	2	1	212,213	51,345	17,115
5 厚別区	2	0	2	127,739	38,489	19,245
6 豊平区	3	2	1	222,134	54,769	18,256
7 清田区	2	0	2	114,600	31,608	15,804
8 南区	3	2	1	138,605	46,588	15,529
9 西区	3	1	2	214,825	58,376	19,459
10 手稲区	2	2	0	141,984	41,733	20,867
計	27	10	17	1,954,503	516,892	19,144

(平成30年7月現在)



札幌市の介護予防センター設置状況



区名	センター数	受託法人種別			地区人口	地区 高齢者人口	1センターあたりの 高齢者人口
		医療	社福	その他			
1 中央区	6	2	4	0	234,992	53,560	8,927
2 北区	7	1	6	0	285,394	74,530	10,647
3 東区	8	2	6	0	262,017	65,894	8,237
4 白石区	5	0	4	1	212,213	51,345	10,269
5 厚別区	4	2	2	0	127,739	38,489	9,622
6 豊平区	6	2	3	1	222,134	54,769	9,128
7 清田区	3	0	3	0	114,600	31,608	10,536
8 南区	5	2	3	0	138,605	46,588	9,318
9 西区	5	3	2	0	214,825	58,376	11,675
10 手稲区	4	0	4	0	141,984	41,733	10,433
計	53	14	37	2	1,954,503	516,892	9,753

(平成30年7月現在)